

直近の学術フォーラム・公開シンポジウム等の開催予定について

令和6年3月25日時点

開催日時	開催形式（場所）	名称
4月13日（土） 15:00～	東京工業大学大岡山 キャンパス	公開シンポジウム「第70回構造工学シンポジウム」
4月14日（日） 15:00		

※諸般の事情により、内容等に変更が生じる可能性がありますので、学術フォーラム・公開シンポジウム等の参加前には日本学術会議ホームページを御確認ください。

第70回 構造工学シンポジウム

主催：日本学術会議 土木工学・建築学委員会
共催：日本建築学会、土木学会

建築 CPD 申請中

本シンポジウムは、『構造工学論文集 Vol.70』の登載論文を中心としたシンポジウムを開催することによって、産・官・学、各界の研究者・技術者に学術交流・技術交流の場を提供し、構造工学の一層の発展を目的としたものです。建築部門と土木部門それぞれの論文投稿者による発表のほか、特別講演および建築・土木合同のパネルディスカッションを実施します。

会期——2024年4月13日(土)～14日(日)

会場——東京工業大学大岡山キャンパス西9号館(予定)

※開催方法、会場の変更等は構造工学論文集編集小委員会Webページにてお知らせいたします。随時ご確認ください。

(<http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s11/>)

参加費——無料

論文集——『構造工学論文集 Vol.70B』(建築)は、2024年4月上旬にJ-STAGEで発行・無料公開する予定です。
※冊子の論文集は作成いたしません。

掲載討議方式実施のお知らせ

『構造工学論文集 B』(建築)では、掲載討議方式を実施しています。会場での討議に加えて書面による討議を実施し、その内容を次年度の論文集に掲載します。これにより、シンポジウムに参加できない読者にも討議の機会が与えられるとともに、討議内容が公表、記録されることになります。討議実施要領ならびに討議文書様式は、論文集に掲載いたします。

●特別講演会・パネルディスカッション

会期——2024年4月13日(土) 15:00～18:00

会場——東京工業大学大岡山キャンパス西9号館(予定)

1. 開会式

15:00～15:10

挨拶：竹内 徹（日本学術会議土木工学・建築学委員会／東京工業大学）

佐々木葉（日本学術会議土木工学・建築学委員会／早稲田大学）

司会：永野正行（東京理科大学）

2. 特別講演会

15:10～16:10

「土木・建築の協同によるマルチハザードに対応可能な耐複合災害都市を目指して」

講師：久田嘉章（工学院大学）

司会：永野正行（前掲）

3. 建築・土木合同パネルディスカッション 16:15～18:00

「耐複合災害都市に向けた構造工学の挑戦」

2024年1月1日に能登半島沖でM7.6の大地震が発生した。震源領域近傍で強い揺れや大規模な地殻変動が発生し、これに伴い建物倒壊、津波、斜面崩壊、地盤液状化、火災、地盤隆起等が広い領域で確認された。能登半島の特殊な地理条件による交通寸断で復旧活動に遅れが出たほか、避難所に逃れた多くの方々が、長期間にわたる断水等により飲料水、トイレの水不足等で不便な生活を余儀なくされた。建築、土木構造物への直接的な被害はもとより、集落孤立などそれに伴う人的被害も引き起こされ、まさに「複合災害」の様相を呈している。今後、首都圏を含む大都市圏でも、大地震、豪雨等を含めた自然災害が複合的に発生することも予測される。令和6年能登半島地震で見られた「複合災害」は、土木・建築の両分野が率先して協同し解決すべき課題と言える。

第70回目となる今回は、地震災害をはじめとし、近年地球温暖化に伴う気候変動により激甚化している豪雨、台風等による水害、土砂災害を含むマルチハザードに焦点を当てる。日本学術会議土木工学・建築学委員会では気候変動と国土分科会で議論され、土木学会・日本建築学会では相互協力に関する覚書に基づく「土木・建築タスクフォース」の中で災害連携WGが立ち上がり、土木・建築の両分野共同で耐複合災害に取り組む枠組みが固まりつつある。この動きを踏まえ、土木・建築の構造工学分野における取り組み、方向性に焦点を当てた特別講演、パネルディスカッションを行う。これらを通じ、今後のレジリエントな建築、都市、まちづくりを考える場としたい。

司会：中野達也（宇都宮大学）
廣畠幹人（大阪大学）

主旨説明：永野正行（前掲）

パネリスト講演：

「近年の水害・土砂災害を踏まえた建築構造物の破壊過程とその性能」 壁谷澤寿一（東京都立大学）

「建築構造技術と住民・地域コミュニティ主体型防災対応に関する新展開」 平田京子（日本女子大学）

「災害シナリオの特性から考える耐複合災害の対策」 大原美保（東京大学）

「激甚化する降雨災害に対する鉄道インフラのレジリエンス向上」 神田政幸（鉄道総合技術研究所）

●建築部門発表講演

会期——2024年4月13日(土) 10:00～14:30
14日(日) 10:00～12:00

会場——東京工業大学大岡山キャンパス西9号館(予定)

●土木部門発表講演

会期——2024年4月13日(土) 9:00～14:45
14日(日) 9:00～12:30

会場——東京工業大学大岡山キャンパス西9号館(予定)